

週刊センターニュース

No.165



第165号(2007年7月2日) 毎週月曜日発行
発行：金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL：http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

第153回共同学習会のご案内

日時：7月5日(木) 16時30分～18時

場所：金沢大学角間キャンパス総合教育棟2階大講義室

テーマ：アメリカにおけるアウトカムズ評価の動向 - 2007 Western Association of School and College Annual Meeting 参加報告 -

報告者：渡辺達雄(大学教育開発・支援センター)

趣旨：大学教育の質の保証は世界的な課題となる中で、周知のように、学生の学習成果(Learning Outcomes)に対し大学がどれほど寄与しているのかという観点が必要視されてきている。今回、各国に影響を与え続ける、アメリカの大学評価制度であるアクレディテーションにおいて、それらをどのように測定しようとしているのかについて、とくに西部地区(および各大学)の近年の動向・取り組みを紹介しつつ、日本の大学(教育)に対するインプリケーションについて触れていきたい。

「規制改革推進のための3か年計画」について

平成19年6月22日、「規制改革推進のための3か年計画」が閣議決定されました。

今次の「計画」における、大学組織に関わる重点計画事項は、「大学における教育研究状況の評価」の1点のみです。そこには、具体的には、「国立大学法人の中期目標期間の評価に際して、大学ごとに教育と研究それぞれの成果を含む状況について根拠となる資料・データに基づき分析した上で評価を実施し、その結果を国民に対してわかりやすく示す」[平成21年度中に実施]と書かれています。

その一方で、「計画」は、『規制改革・民間開放推進3か年計画(再改定)』(平成18年3月31日閣議決定)を始め、規制改革に関連する既定諸計画に定めている事項の「着実な実施を図る」ことを求めている点に留意が必要です。つまり、「計画」は、やり残しの宿題については、きっちりと片をつけてくださいよ、と釘をさしているのです。こうしたやり残しの宿題のうち、その実現が相当困難であると思慮されるのが、「中期目標終了時に行われる国立大学法人の評価を、独立行政法人大学評価・学位授与機構の評価とは別に、認証評価機関の評価結果等も重要視して、多様な観点から実施することについて、国立大学法人評価委員会において検討し、結論を得る」という内容の既定計画です。なお、当既定計画に対する「実施予定時期」については、「国立大学法人設立後の最初の中期目標終了時まで措置」と記されています。

ところで、規制改革推進の立場から、大学・大学院政策が今後どう展開されていくのか、という点を見極める上で重要な文書が、規制改革会議内に設置された教育・研究タスクフォースの手になる「教育研究の質の向上に向けた大学・大学院改革に関する基本的考え方～組織中心の支援から個人中心

の支援へ～」です。以下、この文書が提言した大学財政や大学の組織・編成に関する重要部分を列記します。

- ・将来的に、運営費交付金、私学助成金を教育目的に特化すること。
- ・研究目的に交付する公費については、競争的資金で充当することが望ましいこと。
- ・運営費交付金や私学助成金の配分は、多様で自由な民間機関の適正な評価を基に、集まった学生数に応じ配分額を決定する仕組みとすること。
- ・在籍学生1人当りに配分される公費は同額とし、学部等により差異が生じる経費については基本的に授業料で賄うべきこと。その上で、現行の国立大学における同一授業料について、大学ごとの自由な設計を認めるべきこと。
- ・大学・大学院間の連携・再編・統合等が、国による主導ではなく、学生の選択の結果に基づき行われるようにすべきこと。

上記文書は、わが国の規制改革当局が大学・大学院に係る政策課題を上記のように整理しつつあることを窺わせるものであり、私たちとしても、こうした「規制改革」の動向から、当面、目をそらすことが出来ないものと思われます。
(文責：評価システム研究部門 早田幸政)

ランチョンセミナーのご案内

今週のランチョンセミナーは、「生協週間」として、金沢大学生協の方々のご協力を得て、学生生活に役立つ様々な情報をお届けします。

- 第45回 7月2日(月) 読書マラソンをしよう！(金大生協書籍部 中野恵康)
- 第46回 3日(火) パソコンのスキルを身につけよう(金大生協本部 北俊之)
- 第47回 4日(水) 学生総合共済・いきいきフェスタ(仮題)
(金大生協学びと成長事務局 井上美紗子)
- 第48回 5日(木) 一人暮らし こんな時どうする？(金大生協住まい相談カウンター 池田寿生)
- 第49回 6日(金) 大学生にしか出来ない 語学研修の旅(金大生協トラベルセンター 今井博子)

高等教育に関連する学会・セミナー情報

- ・7月3日(火) 13:00~14:20 「PBL (Problem-based Learning) の国際的動向 - 国際 PBL シンポジウム 2007 報告」
報告者：本間里見(熊本大学大学教育機能開発総合研究センター)
場所：熊本大学黒髪北キャンパス大教センター棟1階第2会議室
お問い合わせ先：E-mail: hcenter@ge.kumamoto-u.ac.jp Tel: 096-342-2711(代表)
詳細は、<http://www.ge.kumamoto-u.ac.jp/seminar070703.pdf>を参照
- ・7月14日(土) 13:40 - 16:40 2007年度第1回FDセミナー「FDのリーダーになるために - FD義務化からの新たな出発 -」(大学コンソーシアム京都)
報告者：佐藤浩章(愛媛大学教育・学生支援機構准教授) 圓月勝博(同志社大学教務部長)
会場：キャンパスプラザ京都5階 第1講義室
お問い合わせ先：京都高等教育研究センター 志水 cherk@consortium.or.jp 075-353-9100
(内線354) 詳細は、<http://www.consortium.or.jp/staff/center/forum01.html>を参照